



田上 美悠さん
Tanoue Miharu

〔下横田区〕

たのうえ みはる / 龍野小4年。今年7月の全日本ジュニアテコンドー選手権大会の小学4年男女合同キョルギ（組手）の部で準優勝。

心技体を強く磨いて テコンドーの頂点を目指す

「テコンドー全国大会で優勝することが次の目標です。試合では、リラックスして自分の力を発揮したいです」と目を輝かせるのは、テコンドーに取り組み田上美悠選手（下横田区・龍野小4年）。

韓国の国技で格闘技の一種であるテコンドーは、空手と比べて多彩な蹴り技が特徴。試合で着用するヘッドギアとプロテクターへの攻撃がヒットするとポイントが加算され、試合時間内に獲得したポイント

ト数によって勝敗が決まる。保育園児のとき、体力づくりのために兄と一緒にクマモトテコンドーアカデミーに入部したのがテコンドーとの出会い。田上選手は、「最初は怖かったけど、初めての試合で技が決まって逆転勝ちしたときはうれしかったです」と振り返る。現在は、週に1回クラブに通い練習にはげむ。2人1組でミットを蹴り合

うトレーニングや実際の試合さながらに防具を付けての1分間組手など、厳しい練習で心技体を鍛えている田上選手。「練習はきついこともあるけれど、クラブの雰囲気は良く、仲の良いクラブメイトと練習できるのは楽しいです」と笑みがこぼれる。

7月の「JOCジュニアオリンピックカップ第9回全日本ジュニアテコンドー選手権大会」の小学4年男女合同キョルギ（組手）の部で準優勝に輝いた田上選手。決勝戦を振り返ると「緊張していつもの力が出せなかったもので、とても悔しかったです」と唇をかむ。しかし「来年、必ず優勝できるように練習をがんばります」と意気込む。

現在、田上選手の修練程度や実力を表す帯の色は、3級の赤。「今、目指しているのは1級の赤黒帯。5年生になると初段の黒帯に挑戦できるので楽しみです」と話す田上選手。「黒帯で全国1位が夢。もっと強くなりたいです」とさらなる高みを目指し、自分を磨き続ける。

広報 こうさ

2016年（平成28年）11月号
通巻568号